

## ◎浦安地区公民館平成30年度運営の状況と評価

### (1) 運営の状況

項目	状況
年間総利用者数	683団体 のべ9,505人 (公民館使用簿より)
開催事業・講座	計84回 のべ2,401人参加 (詳細は別紙「平成30年度事業実績」のとおり。)

### (2) 評価

#### ○評価項目及び評価

項目	評価の観点 (下記が適正にできているか)	特徴的取り組み・反省点など	評価
公民館の 目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者(職員・役員)の目的・目標理解と意欲的取り組み</li> </ul>	常に目的・目標を念頭に置き、年間を通じて取組んだ。役員全員の理解の徹底には至らなかったものの、会議や事業への参加率もわずかずつではあるが増加傾向にあり、事業参画に対する意欲が芽生えてきた。	B
地域全体で 行う、まな びテーマの 把握・反 映・実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民学習ニーズの把握及び事業への反映</li> <li>地域課題、生活課題、現代的課題の事業への反映(講座リスト活用)</li> <li>発達課題、家庭教育、奉仕・体験活動に関する学習機会設定</li> <li>事業への住民参画推進</li> </ul>	運営協議会、教養・体育部長会などを通じて、住民ニーズの把握と反映に努め、住民参画を推進した。あったかカフェたんぼぼでは、だれもが安心して交流・相談できる場を提供し、住民の公民館事業への関心を高め、参画を推進するよう努めた。うらやすキッズでは、年4回の体験活動を通し、ものづくりやスポーツ、料理などあらゆる物事に関心を持つきっかけづくりに努めた。特に高齢者教室との共催としてグラウンドゴルフ交流会を開催し、世代間交流を行うことができた。	B
より自主的 なまなびの ススメと広 がり	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主運営学習グループづくり推進</li> <li>住民の自主学習支援</li> <li>学習リーダー、講師育成</li> <li>学習成果発表機会設定(作品展示など)</li> <li>関係団体と連携しての事業実施</li> </ul>	前年度、地域住民からの要望により開催した体操教室を自主運営グループとして発展させることができた。既存の自主運営グループには公民館まつりにおいて展示・発表の機会を設定し、学習成果発表と新たな学習者確保に努めた。また、公民館主催の教室では、各種団体と連携しながら事業を実施し、地区内外からの新たな学習者の確保につながった。	A
まなび情報 提供と職員 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座開催、学習グループの情報提供</li> <li>図書など資料の提供</li> <li>職員研修(町教委主催など)への参加と自己研鑽</li> </ul>	公民館だより発行(4回)、ホームページ記事掲載、音声告知放送、チラシ作成など、情報提供に努めた。 県(2回)・町(5回)・郡公連(3回)主催の研修の他、各種研修にも積極的に参加し、多角的に自己研鑽を積んだ。	A
利用者目線 のまなびの 館づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>館管理、貸館、不在表示の適宜実施</li> <li>利用者への挨拶励行など、接遇改善</li> </ul>	不在表示を欠かさず行い、館利用が滞らないよう努めた。清掃に努め、「来たときよりも美しく」を合言葉に、住民啓発を実施。明るい挨拶と歯切れよく丁寧な対応に心がけた。	B
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域学習拠点として全体総括</li> <li>次年度に向けての改善点</li> </ul>	全体的におおむね順調に進んでいる。自主運営学習グループづくりを強化し、講師確保に努めた。今後もさらにネットワークを広げ、学習人材情報収集に努めたい。	合計 17点 (20点中)

※評価 A: 適切・十分(4点) B: 概ね適切・概ね十分(3点) C: やや不適切・やや不十分(2点) D: 不適切・不十分(1点)

○平成30年度事業実績

浦安地区公民館

事業名	内容	ねらい	実績(開催日・回数・参加人数等)	
諸 会 議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する。	公民館活動の総括的な改善・検討・推進	年1回開催(単独の会) 8名出席
	公民館運営協議会 委員・教養部長・体育部長・スポーツ推進委員合同会	公民館運営協議会委員10名、教養部長34名、体育部長34名、スポーツ推進委員4名で組織。公民館事業の具体的な取組について協議・実践する。	事業実施を通じた地域リーダーの育成	年7回開催 のべ296名出席
	実行委員会 (教養部担当者)	公民館事業の具体的な取組について内容等を検討・実践する。各団体代表と連携を取りつつ実施する。	事業実施の効率化	年3回開催 のべ23名出席
	うらやすキッズ 実行委員会	小学校長・PTA会長・生活部長・うらやすキッズアドバイザー・公民館で組織。うらやすキッズの事業内容等について協議・実践する。	地域・学校・家庭が一体となった青少年健全育成のための環境づくり	年1回開催 7名出席
	女性部長会	女性部長24名で組織。女性教室・視察研修の内容検討・実践を行う。各部落における活動について情報交換を行う。	地区女性活動の活性化	年1回開催 10名出席
	人権・同和教育 推進研究協議会 役員会・ 部落懇談会事前研修会	浦安地区人権・同和教育推進研究協議会役員16名で組織。地区住民への啓発活動、具体的な学習内容の研究などについて協議・実践する。	地区住民にあらゆる人権課題に対する正しい知識を広め、健全な人権意識育成のための環境づくり	4/25役員会①8名 5/17監査会5名 11/29役員会②9名 1/24事前研修会114名
文化・ 教養 講座	文化・教養講座 講演会	演題:「お酒のはなし」 ～銘酒“鷹勇”ができるまで～ 講師:大谷 修子さん (大谷酒造株式会社代表取締役)	地元・浦安で140年以上にわたり酒造りの伝統を守り続けてきた大谷酒造株式会社の歴史や酒造りへのこだわり、お酒との上手な付き合い方を学ぶ	7/1・43名
	ふるさとを知る会	見学先:東伯浄化センター、 大山乳業農業協同組合 案内人:豊見 佳修さん(有限会社赤碕清掃)、 山田 真一さん(有限会社赤碕清掃)、 杉島 聡さん(琴浦町上下水道課)	ふるさとを知り、ふるさとを愛する心の涵養 身近にある史跡・施設についての学習	8/25・29名
女性 教室	女性部視察研修	テーマは「地域の特色を活かした町おこしの取り組みについて学ぶ」。 岡山県勝山～久世地区にかけての雄大な自然とそれぞれの歴史やまちづくりの取り組みを実際に目にして深く知り、地元のまちづくりへの関心を高め、活用につなげるきっかけづくりとする。	女性の視点による地域課題の整理、まちづくりの学習・実践の推進	6/16・29名
	出張女性教室 (各部落女性部)	手芸・園芸教室などを各部落女性部で企画・検討し、学習活動を実施する。公民館まつりへの作品出展を通して、多方面へ活動実績をPRする機会とする。	手芸教室、園芸教室などの出前講座の企画 親睦、ひとづくり、地域づくりなど、女性の継続的活動の促進	6/2 浦安10区・8名

一般教養講座	おとこもつくる料理教室	地元食材を使った簡単で健康づくりを意識した料理について学び、料理に親しむ。 献立: 鮭のちゃんちゃん焼き、鮭フライのらっきょうタルタル、小松菜の塩昆布あえ、ごま味噌ポテサラ他 講師: 食生活改善推進員	琴浦町食育推進計画の概要を知る 日々の食生活におけるメタボ予防を意識する料理をする機会の設定 親睦・交流の促進	5/26・28名 (男性19,女性7,子ども2)
	ハーバリウム教室	色とりどりのドライフラワーやプリザーブドフラワーを特殊なオイルで瓶詰めした植物標本をつくる。 講師: 藤田 昭子さん(谷本種苗園芸)	手入れ不要でどこにでも飾ることができるハーバリウムを通して、手軽に美しい花やグリーンに親しむ機会をつくる	5/20・19名
	アロマワックスサシェ教室	天然ミツロウと精油を使った火を灯さないアロマキャンドルをつくる。 講師: 坂根 春香さん (JCPAアロマワックスサシェ認定講師)	天然素材にこだわった材料を使った美しいインテリア雑貨づくりを通して、ものづくりの楽しさを知る	7/15・20名
	デコパージュ教室	デコパージュの技法を学び、ろうそく型LEDランプを飾りつける。 講師: 濱口 正子さん	簡単な工程で制作可能な作品づくりを通して、ものづくりへの関心を高め、その楽しさを知る	10/20・12名
	立体和紙ちぎり絵教室	立体ちぎり絵の技法を学び、「シロツメクサ」をつくる。 講師: 前田 孝子さん	和紙ならではのぬくもりある風合いを活かした作品づくりを通して、ものづくりの楽しさを知る	10/25・14名
	ガーデニング教室	季節の花の寄せ植えを学ぶ。 講師: 財賀 明子さん	季節の移ろいを感じ、草花を育てる喜びを知る 花いっぱい運動への貢献	11/10・16名
	正月用フラワーアレンジメント教室	正月向けのフラワーアレンジメントを学ぶ。 講師: 安藤 充勉さん(花はあんど)	年中行事の一環として、日本の伝統文化と現代的アレンジについて学ぶ	12/27・20名
	おとなも楽しいプラバン教室	子どもから大人まで手軽に楽しむことのできるプラバンを使ったアクセサリーをつくる。 講師: 入江 遥さん、竹森 眞理さん	簡単な工程で制作可能なアクセサリーづくりを通して、ものづくりへの関心を高め、その楽しさを知る	1/12・12名
	折り紙教室	子どもから高齢者まで馴染み深い折り紙を使い、季節の行事にちなんだ「おひなさま」の折り方を学ぶ。 講師: 酒本 幸栄さん	わずかな折り方の違いで生まれる作品の個性を感じ、ものづくりの楽しさを知る	1/24・16名
	囲碁・将棋大会	毎年開催の囲碁・将棋大会	地区内外に関わらず、趣味を通じた多世代交流と生きがいを感じられる場の提供	2/9・21名
簡単でおいしい！ドイツ風ピザづくり	ドイツの郷土料理「フラムクーヘン」について知り、家庭でも手軽にできる料理を学ぶ。 講師: 永田 瑞穂さん、竹森 眞理さん	身近に手に入る材料を使い、簡単な工程で仕上がる料理を通して、料理の楽しさや食文化の違いなどを知る	2/23・19名	
男女共同参画	男女共同参画講演会 (琴浦町、八橋・浦安地区公民館共催)	演題: 「みんなでのおこす新しいまちづくりの風」 ～時代にあったアイデアの「作り方」と「育て方」～ 講師: 佐藤 淳子さん (鳥取県男女共同参画登録講師)	人口減少社会における自治会運営で重要となる新しい風を取り入れ、できる人ができることを実践するためのヒントを学ぶ。	7/24・38名
自主運営教室支援	公民館教室派生の各自主運営学習グループ・団体に対し、大会・発表機会・情報提供などの活動支援を行う。  おしゃべりサロン／詩吟教室／スマイル体操一歩会(将棋)／太極拳教室／卓球クラブ	住民の自主的な学習活動支援	通年	

高齢者教室	グラウンドゴルフ交流会 (高齢者教室・地域子ども教室共催)	子どもから高齢者まで幅広い年齢層が参加しやすいスポーツを通して、健康づくりと世代間交流を図る。 協力:浦安南・北万寿クラブ(高齢者クラブ)	近年、地域において希薄になりがちな多世代交流と高齢者の生きがい・健康づくりの場の提供	7/21・キッズ11名 大人21名
地域子ども教室(うらややすキッズ)	工作教室/ ダンボール自販機づくり	ダンボールを使ってボタンを押すと商品が出てくる小さな自動販売機をつくり、好みで飾りつけする。	身近に手に入る材料を使ってできる工作を通して、ものづくりの楽しさを知る	8/18・キッズ14名 大人7名
	ブッシュド・ノエルをつくろう! (カウベルホール連携事業)	市販のビスケットを使って簡単につくれる、クリスマスにちなんだおやつづくり。和楽器の演奏家グループによるミニコンサートを同時開催。季節の行事を仲間とともに楽しむ。	家庭でも簡単につくれるおやつづくりを通して、親子のふれあいの時間を増やす日本伝統の音楽や文化、楽器への関心を高める	12/8・キッズ24名 大人14名
	卓球大会(子どもの部)	浦安地区卓球大会子どもの部に参加。低学年、高学年の各部に分かれ、それぞれ対戦。	浦安地区大会と同時開催にすることで、地域の大人との交流やスポーツの活気を体感し、その楽しさを知る	2/3・キッズ10名 大人13名
	卓球大会(大人の部)	浦安地区卓球大会大人の部に参加。低学年、高学年の各部に分かれ、それぞれ対戦。	浦安地区大会と同時開催にすることで、地域の大人との交流やスポーツの活気を体感し、その楽しさを知る	2/3・キッズ10名 大人13名
地域活性化交流事業	あったかカフェたんぼぼ	地域包括支援センター、県立琴の浦高等特別支援学校、東伯けんこうと連携し、地域交流カフェを運営する。 協力:地域ボランティアスタッフ	地域住民の交流および相談の場の提供 健康づくり、認知症予防等を意識した体験活動の実施 障がいのある人々との交流を通して、障がいに対する正しい知識と理解を深める	年8回開催のべ215名参加
	公民館まつり	地区住民の作品展示、芸能発表会、囲碁・将棋コーナー、子ども体験コーナー、お茶席、バザーなど	地区住民の親睦・交流の機会の提供による住民同士の連帯意識の醸成 生涯学習活動啓発および発表の場づくり	11/11・360名
人権・同和教育	人権・同和教育推進研究協議会総会および講演会	浦安地区人・同推協の事業・予算決定、決算承認、役員選出等重要事項を決議する。 講演:「子どもたちがともに暮らしていく地域づくりを願って」 ～琴の浦高等特別支援学校の取組～ 講師:琴の浦高等特別支援学校進路指導主任伊藤 孝史さん	総会と併せて講演会開催 琴の浦高等特別支援学校の取組について学び、あらゆる人権課題について振り返る機会をつくる	5/31・54名
	部落懇談会	部落ごとに行政、地区人・同推協と協力しながら、町共通課題「平等って何だろう?」についての懇談会開催	平等・公正の定義を知り、格差や差別をなくすために町民一人ひとりができることを考える機会をつくる	33部落 416名
社会体育	グラウンドゴルフ大会	10部落対抗による競技実施 採点種目の成績により1～3位を表彰	地域住民の健康・体力づくり実践活動 日常生活の中に積極的に運動を取り入れる機運の醸成 健康増進とスポーツへの興味、参加意欲を促進し、住民相互の親睦を深める	4/30・78名
	ペタンク大会			5/13・50名
	ソフトバレーボール大会			6/10・70名
	盆ソフトボール大会			8/15・100名
	卓球大会			2/3・120名
	町民運動会			9/30 台風接近のため中止